

北海道高等学校定時制・通信制パワーアップ事業報告書〔令和4年度（2022年度）〕

学校名	北海道有朋高等学校	(定・通)	校長名	元紺谷 尊 広
所在地	札幌市北区屯田9条7丁目			

(令和4年(2022年)5月1日現在)

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	合 計	教 員 数 (校長・教頭を除く)		
生徒数	男	645	257	397	252	1551	教 諭	52
	女	632	375	449	332	1788	養護教諭	0
	計	1277	632	846	584	3339	合 計	52
学 級 数	実施校12 協力校32	実施校12 協力校32	実施校12 協力校32	実施校12 協力校32	実施校12 協力校32	実施校12 協力校32		

協力校	北海道釧路湖陵高等学校	(全・定・通)	校長名	埴 浩 伸
協力校		(全・定・通)	校長名	

	(実践研究課題)	(実践研究の実施内容)
実践研究の実施概要	<p>ア 特別な教育的支援を必要とする生徒への指導の充実</p> <p>(1) 特別な教育的支援を必要とする生徒への指導の充実</p> <p>(2) 特別な教育的支援を必要とする生徒への指導内容・方法及び評価方法の改善・充実</p>	<p>(1) ICTの活用及び外部の専門機関等との連携を図り、校内におけるサポート体制を構築する。</p> <p>(2) 特別な教育的支援を必要とする生徒の実態把握・分析に基づく個別の指導計画の作成及び指導方法の工夫・改善に取り組む。</p>
成 果		<p>(1) 生徒一人ひとりの特性に応じたきめ細かな学習指導・支援を実施することで、「自立と社会参加」へつなげていくことが改めて確認できた。</p> <p>(2) 本事業を通して、校内教育相談体制の確立及び外部専門機関との連携強化への取組が加速し、定時制・通信制教育に関わる教職員一人一人の意識向上とスキルアップを図ることができた。</p> <p>(3) 協力校が持つ教育資源の活用を含めた「チーム学校」体制の構築に向けて、具体的な教育相談体制の充実について全教職員が共有できた。</p>
実施上の課題		<p>(1) 協力校における教育相談体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力校との教育資源活用に向けた道教委との折衝 ・協力校のある地元自治体での関係機関との連携 ・地方指導員との連携強化 ・巡回訪問以外での訪問の実施（財源等の課題） <p>(2) 実施校における教育相談担当教員の増員</p>
事業実施による成果の普及状況		<p>(1) 北海道高等学校定時制・通信制パワーアップ研究協議会における報告、及び成果と課題を踏まえた改善を加え、次年度への特別な教育的支援を必要とする生徒への指導の充実を図る。</p> <p>(2) 北海道高等学校通信教育研究協議会において、特別な教育的支援を必要とする生徒への指導について説明を行う。</p>
その他特に記載すべき事項	特になし	